

ラフルール

ニュース

9月号

2017年 vol. 74

◀ 地域でのボランティア活動 ▶ ~表紙からの続き~

ラフルールでも、スタッフとは別に様々なボランティアさんがいて、地域の親子や支援事業を応援してもらっています。今回は、ラフルールでボランティアしている方々にインタビューしました。



インタビュー内容：①世代・性別 ②活動回数 ③活動内容 ④きっかけ ⑤思うこと

- 【Aさん】①シニア世代・女性 ②3年前から週1回 ③ひろば閉館後おもちゃの片づけや消毒 ④孫まご講座への参加 ⑤お子さん方を見ていると元気がでます。親子を応援しています。
- 【Bさん】①大学生・女性 ②2年前から2週間に1回 ③ひろばでお子さん方を見守る ④周りは保育園でアルバイトしている人が多かったが、自分は親子と関わる場所で経験を積みたと思っていた 教授からの紹介 ⑤思いもよらない言動があって、子どもって可愛いなと毎回感じます。お母さん方の関わり方もそれぞれあって、色々な発見があります。将来は、子どもと関わる仕事に就きたいと考えています。
- 【Cさん】①中学生・女性 ②夏休みを利用して1回 ③子ども達と一緒に遊ぶ ④夏休みの宿題としてのボランティア活動 母からの勧め ⑤自分の小さい頃のことを思い出しました。1回だけでなく、冬休みもボランティアしたいです。
- ラフルールには、ボランティアのほかにサポーターというスタッフのお手伝いをする方々もいます。
- 【Dさん】①50代・女性 ②2年前より週1回のシフト体制 ③スタッフの手伝いとしての資料作成、おもちゃの修理や消毒、掃除・洗濯、閉館後の後片付け等 ④紹介 ⑤家では両親を介護し気を張り詰めているので、こうして子ども達の泣き声や笑い声の中でお手伝い出来るのが楽しいです。



ラフルールだけでなく、地域では色々な場所で様々な人が、年齢やスキルに関係なく活動しています。「地域でボランティア」…今の自分にできることを探してみませんか。

子サポから

横浜子育てサポートシステムってなあに？

地域の中でお子さんを有償で預けたり、預かっていたりする仕組みです。預けたい方(利用会員)と預かる方(提供会員)の出会いをコーディネートします。会員になるには入会説明会に参加してから登録になります。ラフルールでの入会説明会以外でも、3人集まったら説明会を行います。ご相談ください。

子育てサポートシステムの会員には①子どもを預けたい人(利用会員) ②子どもを預かりたい人(提供会員) ③子どもを預けたり、預かっていたりしたい人(両方会員)の3種類があるのをご存知ですか?日頃、子育てサークル、幼稚園、保育園などのお友達同士でお子さんの預かりあいをしている方、子サポの両方会員になりませんか?『お互いさま』は言うものの、いつも預けてばかりでお願いしにくい...『預かるのは構わないけど、何かあったら心配』という思いも、少しは軽くなるかもしれません。子サポの活動であれば、実際にお子さんを預かる前に事務局のコーディネーターが同席して、預かる場所でお預かりするための確認(事前打合せ)をするので安心です。万が一の際の保険にも加入しています。子サポを通じて、地域で助け合える関係を作りませんか? ~入会説明会の予約・お問い合わせは 横浜子育てサポートシステム青葉区支部専用電話TEL482-5518~

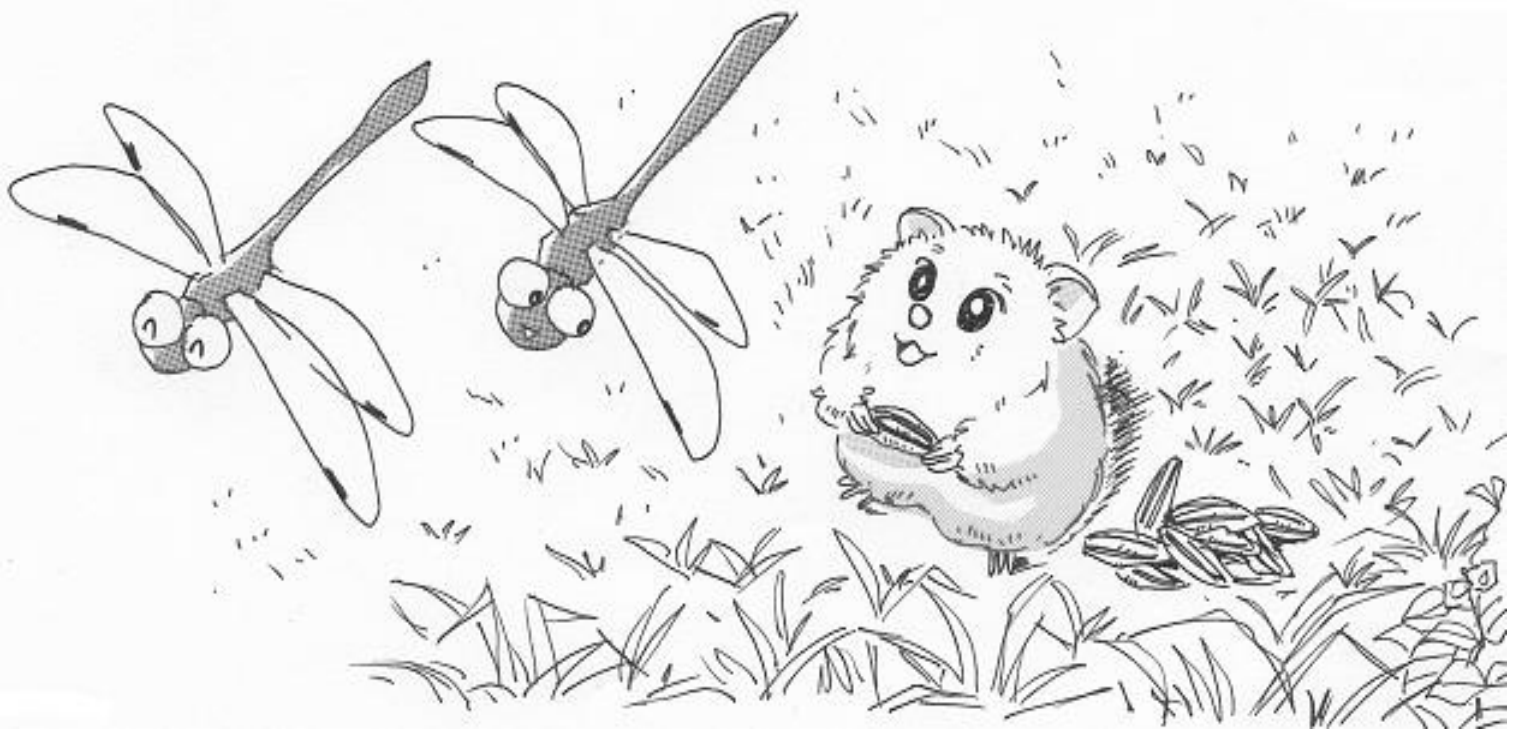
パパ講座 「パパと子どもで楽しむ絵本」

日時：2017年9月9日(土) 14:00~15:30
場所：ラフルール研修室
講師：絵本作家 保科 琢音氏
定員：15組
0歳児~未就学児を持つパパと子、プレパパ
申し込み：ラフルール受付またはお電話で

絵本の良さは、親子で一緒に楽しい時間を過ごすこと。日頃は忙しいパパに、子どもと絵本を読む楽しさを感じてもらえたらと絵本作家の保科さんをお招きします。愉快なお話を交えながらのパパ講座です。この機会にお子さんと一緒に絵本を楽しんでみませんか?



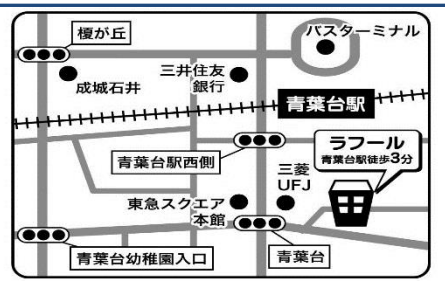
ラフルールのひろばから
ラママのほっとタイム
「テラスのおもちゃ」
ラママトーク
「幼稚園ってどんなところ？」



◀ 地域でのボランティア活動 ▶

地域には、子育て中の家族に向けた子育て支援活動が多々あります。そこでは、運営者やスタッフとともに多くのボランティアが活動しています。~裏面記事につづく~

~ラフルールへのアクセス~
〒227-0062 青葉区青葉台1-4 6階(東急田園都市線「青葉台駅」徒歩3分)
TEL:045-981-3306 FAX:045-981-3307



利用者支援専用 TEL:045-479-5810 火~土曜日 10~16時
横浜子育てサポートシステム青葉区支部専用 TEL:045-482-5518 火~土曜日 9~17時
●ホームページ http://lafull.net ●駐車場はありません
●休日/日曜・月曜・祝日・年末年始



ラフルールは
7つの♥を行っています!












- ひろば
- 子育て相談
- 情報の収集と提供
- ネットワーク
- 人材の育成
- 横浜子育てサポートシステム
- 利用者支援

2017年9月 ひろばカレンダー

ひろば内の予定は、随時変わります。室内ポスターやHPのブログでチェックしてね♡

ラフルでは、カレンダーの予定に関係なく
火曜日～土曜日の10時～16時 毎日「ひろば」を開いています
「ひろば」は、子育て家族が過ごすことのできる場所です
いつでも相談できるスタッフがいます 子育て情報があります
支援の利用につながるまでサポートする「横浜子育てパートナー」がいます

《カレンダーアイコンの見方》  専門の相談員にも相談できる日  センター保育士さんもいる日

火	水	木	金	土
5  子どもの発育に関する相談もできる日 保健師・助産師 10:30～12:30 ●横浜子育てサポートシステム出張入会説明会 10:30～11:30 たまプラザ地域ケアプラザにて要予約 TEL:482-5518	 6 ●横浜子育てサポートシステム入会説明会 10:30～11:30 研修室にて要予約 TEL:482-5518  センター保育士もいる日 14:00～15:45	7	8  地域活動ホーム すてっぶのパン販売 (お昼頃20分程)	2 ●パパの子育て教室 9:40～11:30 (対象:青葉区在住のはじめて パパ・ママになる方) 抽選
12 	13	14 障がい児の子育てサロン要予約 11:30～13:00 ●横浜子育てサポートシステム入会説明会 14:00～15:00 研修室にて要予約 TEL:482-5518	15	16 ●ふたご・みつこ あつまれ～ 要予約 11:00～30分程度
19 	20  ママの気持ちの相談もできる日 臨床心理士 10:30～12:30  地域活動ホーム すてっぶのパン販売 (お昼頃20分程)	21	22  休館日	23 『秋分の日』
26 ●ちょこっと 見学 DAY 10:00～12:00	27 多文化サロン要予約 13:30～14:00	28  ママの身体の相談もできる日 助産師 13:30～15:30	29  ●横浜子育てサポートシステム入会説明会 10:30～11:30 研修室にて要予約 TEL:482-5518 子どもの発達に関する相談もできる日 臨床心理士 13:30～15:30	30 ●地域の方へ OPEN DAY ～子育て支援拠点ってどんな ところ?～ 9:30～10:30 ●横浜子育てサポートシステム入会説明会 10:30～11:30 研修室にて要予約 TEL:482-5518

9月のひろばピックアップ

◆パパ講座◆<要予約>

子育て中のお父さんが、父親ならではの子どもとの過ごし方や関わり方を知る機会としてパパ向けの講座を行います。今回のテーマは『パパの声での読み聞かせ』。講師に絵本作家の保科琢音さんをお招きし、パパの読み聞かせについてお話していただきます。参加しているお父さん同士、交流する機会にもなりそうですね。
日時:9月9日(土) 14:00～15:30
対象:乳幼児を持つ父親と子ども 先着15組
申込方法:ラフルへの電話申し込み、ラフルひろば受付での直接申し込み

◆ふたご・みつこ あつまれ～◆<要予約>

毎月第3土曜日、多胎児育児の当事者どうしの交流と情報交換の場です。
登録やひろばの受付を済ませてからの参加です。
時間に間に合うようお越しください。

◆障がい児の子育てサロン◆<要予約>

昼食をはさみながら、未就学の障がい児を育てている方や障がいのある子育て中の方どうしておしゃべりしましょう。毎月第2木曜日。

◆多文化サロン◆<要予約>

毎月第3水曜日、外国出身の0歳～未就学児の育児で家族を対象に当事者どうしの交流と情報交換の場を提供しています。

◆ラフル OPEN DAY ～子育て支援拠点ってどんなところ?◆

毎月第4土曜日 9:30～10:30
地域の方や支援者の皆さんに向けた施設見学日です。直接6階までどうぞ予約不要です。

◆ちょこっと見学 DAY◆

ラフル初めての妊婦さんや未就学児の親子向け見学日です。登録の有無に関係なく、ちょこっとだけ見学できます。その場で登録もできます。

◆ひろば内子育て講座&ひろばゲスト◆ 『保育教育コンシェルジュに聞いてみよう ～保育園入所申込について～』

子育てで気になることを取り上げ、講師にお話しいただく「ひろば内子育て講座」。ラフルでは、誰でも話を聞くことができる様に、ひろばの中で開催しています。予約不要のひろばを利用している方でしたら、どなたでもご参加いただけます。
今回は、地域の子育て支援を紹介する「ひろばゲスト」とのコラボ企画。青葉区の保育教育コンシェルジュをお招きして話を聞きます。日程は只今調整中。決まり次第、ラフルひろば内やブログでお知らせします。



「テラスのおもちゃ」

夏のプール遊びも終了し、ラフルのテラスにいつもの外遊び用おもちゃが戻ってきました。子ども達も、久しぶりの車やトランポリンを見て大はしゃぎ。大人も汗をかきながら竹馬に挑戦しています。今回は、テラスのおもちゃを紹介します。

【3台の車】

ラフル開設当初から大人気、少し大きめの黄色い車。押して動かして遊びます。今はダンボールの手作り駐車場に停めて片付けています。「バックします。バックします。」子ども達も運転手気分。でも、車の上には座らないでね。押して遊ぶおもちゃです。

【トランポリン】

ジャンプが大好きな子ども達。でもこのトランポリンには危険防止としてスプリングが入っていません。大人の方が一緒に跳ぶことで弾みます。どうぞ、お父さん・お母さんも一緒にジャンプ♥ジャンプ

【竹馬&缶ぽっくり】

ラフルでは、子どもだけでなく大人にも遊ぶ楽しさを思い出してほしくて様々な遊びを提案しています。竹馬はまさに大人の皆様へのメッセージ。「童心にかえって、ちょっとチャレンジしませんか?」そんな思いで用意しています。子ども達は缶ぽっくりに Let Try!

【踏み石】

びよーん・びよーんとバランスをとりながら遊ぶカラフルな踏み石ですが、ラフルでは親子のアイデアでいろいろ活用されているようです。

キャンプ用テントやみんなで作ったダンボールハウスが登場したり、季節によっては鯉のぼりや凧が出てきたりすることもあります。テラスでの外遊びも、親子で一緒にお楽しみください。

『やったね!へんてこライオン』 一小学館 長 新太



いろいろな姿に変わっていく、へんてこなライオン。クジラにバナナに豪華客船・・・聞いている子どもはもちろん、読んでいる大人もわくわくしてしまいます。繰り返し決まり文句も、リズムが良く親子で楽しめる一冊です。

幼稚園を決める基準も、園への関わり方も人それぞれ…。ご自分の大事にしたいことを、先ずご家族で話し合った上で、先輩の意見も参考にしてくださいね。

*備考 幼稚園は対象年齢に達していれば入園できますが、保育園は入所要件という条件を満たしていないと入園できません。

子育て何でもトーク

幼稚園ってどんなところ??



質問①

幼稚園って勉強するんですか? 保育園との違いもわからない・・・

幼稚園児ママにひろばインタビューしました!

・お勉強をするところかと言われたら、それは違うような気がする。

- ・幼稚園でも働いている人がいる。延長保育を活用しながら仕事をしている人を見て、初めは驚いた。入園してみて、そういう事も出来るんだと知った。
- ・保育園とは保育時間の長さが違う。
- ・お勉強するところではない。幼稚園では子どもと子どもと一緒に生活する中でトラブルや色々なことがあって、それを乗り越えて子ども達が成長するところが幼稚園。そういう意味では、様々な経験を通して学ぶことも多い。
- ・製作で、のりやハサミなどを使う機会が多い。幼稚園でそれらを覚えました。
- ・お勉強をお勉強とは思わずやっています。漢字や俳句の時間もあります。
- ・お勉強をするところとは思わない。友達とコミュニケーションをとることや人間関係の基礎力をつくること。
- ・幼稚園は集団行動に重点を置いている様な気がする。自分が保育園だったので、幼稚園のことはよく分からなかった。入ってみると、幼稚園はカリキュラムがよく組まれている印象。どちらも、子どもを大切にしている工夫をしている。
- ・いわゆる大人が考える勉強するところではないと思う。
- ・子どもなりに社会に出て様々な場面やその時の思いを実体験することで、精神的に成長していくところ。

質問②

幼稚園を決める基準は何でしたか。優先順位は何か一番高かったですか

- ・家から近い、給食があるか。一番の決め手は、のびのびして我が子の生活や性格に合っているかどうか。
- ・外遊びが多いかどうか。先生方の雰囲気。一番は、明るくて子ども達が思いきり遊んでいるところ。
- ・見学に行くと雰囲気良かった。・感覚的なもの。・何かあった時にバスを使わないで行けること。
- ・近い将来の小中学校区も考慮に入れた。・お友達の中には、制服で選んだ人もいた。
- ・仕事をしたかったので、時間外預かりが充実し、子育て新制度に基づく給付対象園の中から選びました。その中で、のびのびした園に決めました。
- ・園の雰囲気は好きだったけど遠い…。悩みました。いざ入ってみると、今の所距離が負担になることはなく、教育方針で選んで良かったと思います。
- ・子どもへの願いや思い、考え方など価値観が同じ幼稚園に決めました。・保護者の皆さんの雰囲気。あまりに馴染めないところはやめました。
- ・いくら親の方が気に入っても、我が子に合っていなければ意味がないので、最後は子どもに合うところになりました。

質問③

保護者の幼稚園への参加頻度、関わり具合はどの位ですか。

- ・保護者会、参観日、父の日イベントなど色々。役員なしで月3回位。集中してある時は、週2回。園で決まった懇談会は年2回。絶対参加で大掃除がある。
- ・月に1回程度、最近英語の発表会やお誕生日会がありました。年2～3回、参観日や運動会など。ボランティア的な集まりは参加したいだけ。
- ・おゆうぎ会の衣装作り。お芋ほりやお餅つきなど、パパの出番が多い。園指定のママ茶話会が1学期に1回。
- ・園の見学時に親の参加頻度を質問したら、少ない方で参観多い方と言われた。実際、年何回か保育参観がある。参観が多くて嬉しい。
- ・役員会や保護者会、参観日や行事への参加など少ない方ではなかったけど、参加自体を楽しんでいる人が多く、役員でさえもみんなすすんで手を挙げていました。
- ・幼稚園へのボランティア的内容の任意サークルが幾つかあって、参加したい人が活動していました。